

# 東京トレッキングクラブ

## T. T. C. 会 報 2013年 8 月号

会長：飯田隆一

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

### 《 8 月 の 山 行 計 画 》

No. 3, 014 薬師ヶ岳から五色ヶ原 < A > L 飯田隆一

花の薬師岳と五色ヶ原を訪ねます。

8月1日(木) 22:30 竹橋(毎日新聞社) 発バス(メインターミナル) 毎日アルペン号有峰口・室堂行(10,000円、予約指定性) =

8月2日(金) = 5:20 有峰口 6:25 発バス = 7:40 折立 8:10 歩き出し - 2時間三角点(1,870.6m) - 1時間30分五光岩ベンチ(2,196m) - 1時間30分太郎平小屋(泊) 1泊2食8,600円

歩程: 5時間+2時間……7時間 15:10 小屋に着く。

8月3日(土) 6:00 歩き出し - 20分薬師峠 - 40分ケルン - 1時間10分薬師岳山荘 - 1時間薬師岳 - 30分北薬師岳 - 1時間10分間山 - 50分スゴ乗越小屋(泊) 1泊2食8,600円

歩程: 5時間40分+1時間50分……7時間30分 13:30 小屋に着く。

8月4日(日) 6:00 歩き出し - 1時間30分スゴノ頭 - 1時間50分越中沢岳 - 1時間越中沢乗越 - 1時間10分鳶山 - 40分五色ヶ原山荘(泊) 1泊2食9,000円

歩程: 6時間10分+1時間40分……7時間50分 13:50 小屋に着く。

8月5日(月) 6:00 歩き出し - 3時間平ノ小屋 - 3時間35分ロジックろよん - 45分黒部ダムレストハウス

歩程: 7時間20分+1時間30分……8時間50分 14:50 黒部ダムレストハウスに着く。トロリーバス(15分)、バス(40分)を乗り継ぎ信濃大町へ。信濃大町駅近くの七倉荘で入浴の予定。

地図: 2.5万図“有峰湖、薬師岳、立山、黒部湖” 昭文社“剣・立山”

費用: 約48,000円

申し込み: 7月17日(水)までに往路のバスを予約の上、葉書、電話、FAXで

リーダーへ。

**備考：**往路バス予約先：毎日企画サービス TEL03-3216-5346（平日 10：00～18：00、土曜 10：00～12：00）、バス+宿泊クーポン券（夕食・朝食付）が便利です。1人1泊につき 500～1,000 円の割引あり、太郎平小屋、スゴ乗越小屋が対象です。

**No. 3,015 杏ヶ岳・掃部ヶ岳 <B> L 高橋輝男**

**8月10日（土）** 6：26 上野発高崎行＝8：15 高崎 8：30 榛名湖行バス＝9：35 下の坊 9：40 歩き出し－30分杏ヶ岳林道からの登山口－1時間味噌玉岩－1時間杏ヶ岳－50分杖ノ神峠－1時間 20分掃部ヶ岳－1時間 10分榛名湖バス停  
**歩程：**5時間50分＋1時間30分……7時間20分 17：00バス停に着く。バスで高崎駅へ。

**地図：**2.5万図“榛名湖” 昭文社“赤城・皇海・筑波”

**費用：**約6,000円

**申し込み：**8月8日（木）までに電話（19：00～21：00）でリーダーへ。

**備考：**新ハイ23年臨時増刊号参照。

**No. 3,016 東大巔－烏帽子山 <B> L 阪本弘二**

吾妻連峰に囲まれた不便な秘湯に二泊してミニ縦走を。温泉だけの人もOK！往復青春18キップを使用します。

**8月17日（土）** 7：58 上野発宇都宮行快速ラビット＝9：27 宇都宮 9：34＝10：25 黒磯 10：33＝11：37 郡山 11：56＝12：43 福島 12：55＝13：25 峠 宿の送迎車で姥湯温泉「枅形屋」 一泊二食¥13,650 TEL 090-7797-5934

**8月18日（日）** 姥湯温泉「枅形屋」 8：00 歩き出し－1時間20分姥湯分岐－1時間20分明月荘－30分東大巔－1時間20分烏帽子山－1時間兵子－1時間30分姥湯温泉

**歩程：**7時間＋1時間30分……8時間30分 16：30宿に着く

**8月19日（月）** 7：50 宿の車で峠駅へ。8：22 発で福島へ。

**地図：**2.5万図“天元台、吾嬬山” 昭文社“磐梯・吾妻”

**費用：**約30,000円 青春18キップを使用

**申し込み：**8月6日（火）までにハガキ・TEL・FAXでリーダーへ。

**備考：**青春18キップ必要な方はLに連絡下さい。

**No. 3,017 七倉尾根から針ノ木古道 <B> L 新井田晴義**

8月28日(水) 11:00 新宿発松本行(特急あずさ13号) =13:46 松本 14:09=15:03 信濃大町 乗合タクシー15:30=16:10 七倉山荘(泊) 現地 TEL090-6007-0208 一泊2食9,000円 乗合タクシー1人1,700円

8月29日(木) 6:30 歩き出し-2時間唐沢ノゾキ-3時間20分天狗の庭-40分船窪小屋(泊) 現地 TEL090-2409-6311 一泊2食9,000円

歩程: 6時間+1時間30分……7時間30分 14:00 船窪小屋につく。

8月30日(金) 6:00 歩き出し-50分船窪乗越-1時間針ノ木谷分岐-3時間南沢出会-1時間30分平ノ渡場 14:00 に着く。14:20 発=平ノ小屋(泊) 現地 TEL090-2039-8051 一泊2食9,000円

歩程: 6時間20分+1時間40分……8時間 14:00 平ノ小屋に着く。

8月31日(土) 6:00 歩き出し-3時間35分ロジックろよん前-45分黒部ダム駅 11:20 に着く=扇沢=信濃大町へ。

歩程: 4時間20分+1時間……5時間20分

地図: 2.5万円 “烏帽子岳・黒部湖” 昭文社 “鹿島槍・五龍岳”

費用: 約45,000円(新宿~松本 往復、特急自由席利用)

申し込み: 8月20日(火) までに葉書、FAX, 電話でリーダーへ。

備考: 往路列車時刻は一例です、信濃大町駅構内観光案内所15:20までにお集まり下さい。青春18きっぷ利用期間中です。

## 《 山行報告 》

### No 2,994 富士浅間山とマムシ岳からボンデン山 <B>

パーティ: 佐藤(ツ)、大島 河野/大村、阪本、松井、五十嵐、L高橋(輝) 計8名

5月3日(金・祭日) 晴。予約したタクシー2台で焼山橋まで入り、沢沿いに登り上げて焼山峠に着く。南に尾根を登り、二基の石祠のある富士浅間山山頂。「東面の植林帯への道の無い斜面」を下る事になるので、その地点を探しながらヤセ尾根を下り、展望岩まで来てしまった。「ここだ」と云う確信が持てないが、下降開始。倒木、岩場を避けながらの急降下が続いた。林道に出て一息つく。宮ノ平バス停に着くのと同時に迎えの車も到着。一路「不二野家」に向かう。

焼山橋の先、歩き出し10:15-焼山峠11:05~15-富士浅間山11:50~12:30-展望岩12:50-下降開始13:20-林道14:15-宮ノ平バス停14:40 14:45 迎えの車で不二野家へ。不二野家泊まり。

5月4日(土・祭日)晴。宿の車でゲンナイ登山口まで送ってもらい、沢沿いに登り切ってマムシのコル。東に延びる尾根は1,348mピークあたりから岩尾根になる。マムシ岳直下の岸壁は北側にルートがあり、バンド状の岩棚を通り立ち木を頼って登り上げる。ボンデン山に向かうと、古いロープが垂れ下がっている足場の悪い岩場があり、ザイルを使って無事下降する。大岩の頭(キリンテの頭)の先、キリンテ登山口へのコースに引き込まれないよう全員で細心の注意。東へ60mの急斜面を下りルートの確認をする。ボンデン山で迎える時刻の打ち合わせをしてから936mピークに向かい、ピークの手前で出来たばかりの真新しい登山道をジグザグに下りボンデン山登山口に着く。解散。宿の車で西武秩父駅まで送ってもらう。

ゲンナイ登山口 7:00—マムシのコル 7:50~8:00—マムシ岳 9:40~10:00—食事 11:15~30—ボンデン山 11:55~12:10—936m付近 12:30—ボンデン山登山口 13:10  
送迎車乗車 13:15—西武秩父駅 14:45 (高橋輝 記)

## No. 2, 995 剣ノ峰・留夫山—旧碓氷峠 < B >

パーティ：吉原、菊地、石井、持田、佐近、村田/見目、L阪本 計8名

5月11日(土)雨。横川駅で宿の車に乗り霧積温泉 金湯館に着くと雨が降っており本日の予定を取り止め宿で温泉につかりノンビリ過ごした。

5月12日(日)晴。予定より早めに歩き出す。新緑の気持ちのいい樹林の道を登り30分で十六曲峠分岐を通過する。高度が高くなってくると木々は芽吹きしたばかりでナガーイ急登で鼻曲峠に着き休憩して展望を楽しむ。途中でカモシカが出迎えてくれた。誰もめのまえの鼻曲山まで登ろうとはしなかった。峠からしっかりした踏跡を150m程下り重い足取りで登り返して留夫山に着き昼食タイムにする。留夫山をくだると緩やかな道になりどこが頂上かわからない—ノ字山付近で休憩して旧碓氷峠に着いた。今日一日歩いて誰にも会わなかったが峠は安政/遠足でにぎやかであった。路線バスが運行していたので、これに乗り旧市街で解散。ソフトクリームを食べながら商店街を歩いて軽井沢駅へ。

5月11日(土)横川駅 10:20—11:00 霧積温泉 金湯館 雨で山行中止

5月12日(日)金湯館 7:55—8:30 十六曲峠分岐—10:00 鼻曲峠 10:30—11:30 留夫山 (11:30~12:00 昼食タイム)—13:30 旧碓氷峠=バスで旧市街—軽井沢駅 (阪本 記)

## No. 2, 996 古社寺めぐりと三ヶ岡山 < C >

パーティ：成田、古屋、島田、L中神 計4名

5月10日(金)晴。鑿摺でバスを降りる。前方の右に標高23mの旗立山・急な山道を登り山頂へ。逗子方面の展望はかすむ。葉山は源頼朝ゆかりの地で供養塔がある。潮風を感じながら海岸沿いの県道を南に下り長徳寺に着き小休止。森戸神社は森戸の浜にあり社殿の後には御神木のビャクシンがあり樹齢800年の天然記念物。この先は3つの尾根道をつなぐ三ヶ岡山に登る。熊野神社の右手から狭い急峻な尾根の木段は西峰の山頂広場まで続く。豊かな植生の森は深い緑をたたえ静か。ウグイスのさえずりを楽しみ昼食。のったりした稜線は次第に照葉樹の森となり展望台デッキに着く。逗子湾から江の島・富士山も見渡せる展望は残念。中央の大峰山(143m)のあずま屋から東峰の山頂広場に着くとツツジが鮮やかな色彩を見せます。緩やかな下りの階段をたどり国道に出ます。コースを変更し「葉山しおさい公園」に向かう。葉山御用邸の付属邸跡の日本庭園は黒松林の中で静かな散策を楽しみコーヒータイムでリフレッシュしてバス停に向かう。

歩き出し9:45-旗立山10:00-長徳寺10:40~50-森戸神社11:35-熊野神社11:50-西峰12:20~13:10-大峰山13:30-東峰13:45~14:05-国道14:30-「葉山しおさい公園」14:45~15:50公園発バス16:00=新逗子駅

(中神 記)

## No.2, 997 大杉谷道から大台ヶ原 <A>

パーティ:五十嵐、L新井田 計2名

5月16日(木)晴。3km手前の登山センターに届けを出し発電所前より歩き出す。道は溪谷に沿って樹林帯を登り下りし、一部は岩を削って付けられていて鎖が張っており、吊橋も本流支流合わせて7ヶ所あり、主な滝付近には展望台が設けられている。七ツ釜へは小屋に荷物を置き樹林帯の道を登り岩伝の鎖場を通り展望台に。(上流方面立ち入り禁止の看板あり)

宮川第三発電所 歩き出し9:10-京良谷11:10-千尋滝展望台12:05-猪ヶ淵13:05-桃の木山の家14:00~14:30-七ツ釜展望台14:50-桃の木山の家15:30

5月17日(金)晴。小屋の前の吊橋を渡り返し昨日の道を僅かに戻り旧地図帳ではエスケープルートと記され現在は山小屋関係者、工事関係者の方々が利用されてる道を利用し林道に、林道は整備され歩きやすい。(一般車両通行禁止、歩行者届け制)堂倉滝には昨日と同じく小屋に荷物を置き急斜面で足場の悪い下りの道を滝の前の吊り橋に、(下流方面立ち入り禁止の看板あり)急坂登り返し小屋に。

歩き出し7:10-大台林道8:45-栗谷小屋11:30~13:00-堂倉滝吊橋14:00-小屋15:30

5月18日(土)晴。小屋から登山歩道をシャクナゲ平経由で日出ヶ岳に。木造

で階段状の回遊路を正木原～大蛇嶺に寄りシオカラ谷を渡り大賑わいの大台ヶ原に。

歩き出し 7:10-シャクナゲ平 8:20-日出ヶ岳 9:00～9:30-正木原 10:15-大蛇嶺 11:20-大台ヶ原バス停=大和上市 (新井田 記)

## No. 2, 998 薬師岳から大木戸山 < B >

パーティ：吉原、森田、石井、河野、持田、堅田、佐近、飯島、森戸、村田、白井／阪本、飯田、中島、山本、L佐藤(ツ) 計 16 名

5月18日(土) 晴。細尾峠は標高1,000mを越えているので空気が澄んでいて肌に心地よい!! 東へ広葉樹林の中尾根上を登る。やがて支尾根に上ると右はカラマツ林に変わり新緑が鮮やかだ。右に古峰原への道を分けると5分弱で薬師岳に着く。男体山が大きく望まれる。この先狭い鞍部に下り着くとブナの大木が2本生え、すぐ上に小さな石祠が2基祭られている。丸山、大木戸山、三ノ宿山と短いながらも急登に汗をかきピークを越える。1,188m峰で「やしおの湯」に向かう北東へ延びる主稜尾根と別れ、踏み跡のか細い北尾根に向かう。25分程下降した標高940m地点で尾根が2ツに別かれ、北西に急下降するが踏み跡が定かでなく、足元に境界標識が続くのが目印になる。更に北へ下り小川の岸に突き当たり、左(西)へ進むと品川区の林間学校の施設の敷地に着くが、登山口の標識は見当たらず逆コースの場合は取り付きが難しいと思う。細尾入口のバス停で解散する。今日はアカヤシオを楽しみに行ったが既に花は終り、僅かな花と白ヤシオ、ヤマツツジが新緑の中に少ない乍らも彩りを添えてくれた。参加者の方の御協力により道迷いも無く五月晴れの中新緑に包まれた1日でした。

細尾峠 10:18-11:05 薬師岳 11:10- (昼食 12:00～25) -13:10 丸山 13:15-13:45 大木戸山 13:55-14:30 三ノ宿山 14:45-15:05 1,188m峰-16:15 品川区光林荘-細尾入口バス停 16:35 (解散) (佐藤(ツ) 記)

## No. 2, 999 高尾山 < C >

パーティ：佐藤(ツ)、河野、岡(体験)／福島、峯原、田中、高場、L大塚 計 8 名

5月25日(土) 晴。高尾北口からのバスが二台出たのですが超満員でした、日影にて下車、体験山行の方とメンバーの紹介後、いろはの森コースを山頂へ林の中の静かなコースでしたが途中薬王院からのコースと合流後は山頂を含めいつもの休日の混雑でした。山頂での眺望は有りませんでした。昼食を済ませ全員で薬王院を往復、薬王院のセッコクはまだ2～3輪で早かったです。分岐まで戻り6号路を大山橋へここでのセッコクは樹の高い所にありオペラグラスでようやく見

える程度でした。セッコクを探しながら下山の途中でフィールド用望遠で撮影している人がいました、その先にはセッコクが寄生した樹が何本も有り肉眼でもよく見え本日のハイライトでした。ケーブル駅でも見学させてもらって解散し京王高尾山口へ。目標達成でうれしい山行でした。

日影バス停 9:30 歩き出し-10:35 6号路分岐-11:00 高尾山 (昼食タイム 11:00~40) (薬王院往復) -12:30 6号路分岐-13:00 大山橋-13:40 琵琶滝-14:00 京王高尾山口 (大塚 記)

## No. 2,990 弥七沢ノ頭 <B>

パーティ：持田、堅田、佐近／阪本、松井、中島、L飯田 計7名

5月25日(土)晴。タクシーを中川温泉で降りたが登り口が判らない。やむを得ず近くの民家で道を聞くと、その人は丹沢救助隊員であった。しかもこのコースは大変危険であり最近死者も出ているので登らない方が良いと言われた。コースを変えることにして大杉山から弥七沢の頭に行く事にして、魚心亭の横から登り出す(9:25)。道は非常に荒れている。すぐに小沢を乗越し急登となった。傾斜が緩んできて鹿柵に突き当たった。この右側が多分692mの馬草山だろう。左に曲がり鹿柵に添って登る。やがて左側ががれてきたので多分悪沢の上と思われる。所々で登山道のなごりの様な階段がでるが大体は道がない。最後は全く分からず直登して大杉山(△861.1m)に着いた(11:05)。弥七沢の頭まで約1時間と見積もり歩き出す。845mの小割沢の頭で右に曲がり進むと岩にはばまれ、左側に張ってあったロープと木の根に掴まりながら登る。弥七沢の頭は二つ目のピークと思うが全く表示はない。此处で昼食とした(12:25~55)。これだけ道が荒れていると、この先に行く勇気が無くなったので皆さんと相談して大杉山に戻りそのまま直進して中川橋を目指すことにした。戻る途中赤テープに導かれて支尾根に入ってしまった。来るときには見なかった林業作業用の材料があったので間違いに気が付き地図と磁石で確かめて登りかえした。大杉山14:25着。踏み跡を探しながら南南西方向に行くと鹿柵が出てきたのでそれに沿い880mの遠見山に着いた(15:45)。南東方向に急勾配を下りしばしば道を見失ったがなんとか乗り切り、やっと林業用の作業道に出た。もう近い。中川橋16:40着。橋を渡りバス停を目指していたらバスが追い抜いて行ったので手をあげたら停まってくれ乗せてもらった。一日中誰にも会わず新緑に囲まれた山でしたが、リーダーとしてはヒヤヒヤの連続で参加した皆さんの協力が無ければ行けなかったと反省しきりの山行でした。

中川温泉 9:25-大杉山 11:05~15-弥七沢ノ頭 12:55~55-小割沢ノ頭 (845m) 14:25-大杉山 14:35-遠見山 15:45-中川橋 16:40 (飯田 記)

No. 3, 001 戸倉三山 < A >

リーダーの都合で中止しました。

No. 3, 002 檜洞丸 < B >

パーティ：河野、飯島、斉藤(体験)、L山田(広)

5月27日(月)曇。29日が雨の予報なので2日くり上げました。

9:45 歩き出し林道を少し歩きつつ新道へ入る。ゴウラ沢の出合からきつい登りになり、疲れが溜まってきた頃1,400m付近より白ヤシオのトンネルになる。トウゴクミツバツツジのピンク、白ヤシオの白、葉の緑とにいやされつつ登る。木道の両側はバイケイ草の群落で蕾が上がっていましたが、葉は少し傷んでいました。檜洞丸山頂から熊笹ノ峰までは、ブナの大木と白ヤシオがさらに見事です。今年は当たり年のようです。

大筭、小筭間は崩れて赤土の滑りやすい所や、鎖場も3か所あり気の抜けない下りが続きます。背丈ほどある笹の中の道を通り、犬越路に着いてホッと一休み。ここからはまた急な下り。沢を渡ってしまえば後は、橋がある遊歩道を安心して歩けます。ほの暗い谷間に咲く白いヤブデマリがすてきでした。花まだですが岩たばこも沢山ありました。用木沢出合から露天風呂もある大きなキャンプ場(日帰り入浴可)の間を通り、すぐに西丹沢自然教室。最終バス18:58発で新松田駅へ。

西丹沢自然教室歩き出し9:45-登山口9:55-ゴウラ沢出合10:40~45-檜洞丸13:10~30-熊笹の峰14:05-犬越路15:50~16:00-用木沢出合-17:00-西丹沢自然教室17:30 (山田(広)記)

TTC3,000回、記念山行を終えて

斉 藤 博

TTC 3,000 回目の記念山行は、平成 25 年 4 月 14 日藤野地区近郊の高倉山、蚕影山各コースで行われました。合せて総会懇親会も藤野駅近くの「風里」店で実地されました。天候にも恵まれて 40 名もの参加があり、盛会で、にぎやかに、楽しい、ひとときでした。

確か、2,000 回山行は、平成 14 年 9 月（日ノ出山）でしたから、11 年目に 3,000 回達成ということになりました。その間、歴代の会長、副会長そしてリーダーの皆様のご苦勞に感謝し敬意を表したいと存じます。

私の TTC 在籍中（900 回～3,000 回）、一番印象に残る山行があります。それは 1,202 回（平成 5 年 7 月 30 日～8 月 2 日）の塩見岳、蝙蝠岳への、3 泊 4 日の山行でした。メンバーは 13 名、リーダーは故、金子会長でした。中央線岡谷駅下車、バスを利用し麓の塩見荘に前泊し、翌朝大黒沢登山口から塩見岳をめざしました。天気は快晴。しかし登りは急坂の連続で、ひいひい言いながら足をつった人もいて大変な苦勞をして、やっとの思いで塩見小屋に到着しました。山小屋は混雑していて、仮設のテントでいわし頭並べの寝床でした。又、トイレが超豪華で谷底から風が吹き上げていて非常に怖かった事を覚えています。翌日は荷物を小屋にあずけ、蝙蝠岳への往復山行へ行きました。蝙蝠岳から見る鉄のかぶとの山はすばらしく立派な山姿でした。今でも脳裏にしみついています。帰路は峠として有名な三伏峠越えでした。

さあ、次の目標は 4,000 回目の山行です。何時になるのでしょうか。12～3 年はかかるのでしょうか。その時まで皆さんと共に元気でいたいものです。スキーの故三浦敬三さを見習いたいものです（98 歳まで現役）。

この機会に TTC 創設者、田名部繁さんの山に対する心構えを再確認しておきたいものです。

- 1) 常に自然を大切に、山を愛して謙虚な心
- 2) 平等な人格者の集団、名誉、年令、地位、学歴、財産などは問題外、
- 3) ゴミ持ち帰り、植物野草の採取禁止、山行中のアルコール厳禁、リーダーは先頭を歩き安全登山を心掛ける。

これらを規範として抑圧感のない明るい楽しい会にしていきたいと思います。

## 《 お 知 ら せ 》

☆ 9月の山行予告

9月16日（月・祝）～17日（火） 越後白山と粟ヶ岳 <B> L 飯田隆一

☆ 列車のダイヤが4月のダイヤ改正で変わりましたので訂正します。

**No. 3,012 森吉山** <C>

7月19日（金）8：28 東京発秋田行こまち25＝11：46 角館 12：17 秋田内陸縦貫鉄道「急行森吉2号」＝13：39 阿仁前田「急行森吉2号」急行券¥1,000

7月21日（日）阿仁前田で解散しますので帰りは自由にお帰り下さい。参考までにLの乗る予定列車です。

14：59 阿仁前田「急行森吉3号」＝16：22 角館 16：33 秋田発東京行スーパーこまち19：48 東京 「急行森吉3号」急行券¥1,000

☆ 次の方が入会しました。

No. 560 齊藤邦江

☆ 次の方の住所が変わりました。

No. 480 神戸千賀子

☆ 8月の役員会は8月7日（水）代々木区民会館 18：00～20：00 です。

☆ 9月の山行計画及び山行報告を6月30日（日）までに飯田まで提出して下さい。